

# 2020

## SEMI-ANNUAL REPORT

2019.4.1—2019.9.30

# Power of Equity

私たちアイ・アール ジャパンは、議決権の力を軸に資本市場の発展に向け、付加価値の高いサービスを提供するコンサルティング企業です。

## CONTENTS

株主の皆様へ .....	1
TOPICS .....	3
業績について .....	5
株式の状況 .....	6

Power of Equityは株式会社アイ・アール ジャパンの登録商標です。

# IR Japan Holdings, Ltd.

証券コード: 6035

## 株主の皆様へ



令和元年の祝賀に際し、世界各国からの多くのご来賓の皆様を拝見し、わが国がより世界に向けて開かれた国であり続けることの意義を深く実感しています。当社が立つわが国の資本市場に視点を移し、この大きな意義を後押しできる革新が実行されているかを問うと、一部に疑問を抱く方々も多いと存じますが、少なくとも奔流は「Yes」であることを私は確信しています。

とりわけ、革新の流れは当社のコア・フィールドであるIR・SR、M&A、会社法務の分野では極めて強く、世界的潮流であるESGの加速、そしてその一部は時代の寵児であるアクティビスト活動等に圧力を受けた企業再編等により、わが国においてもこのコア・フィールドの市場規模は合わせて1兆円への到達を目前に拡大の一途を辿りつつあります。このマーケット(右記参照)で今最も注目されているキーワードがPower of

Equity®(株式議決権の力)であり、当社はこのコーポレート・アイデンティティを基軸に、唯一無二のコンサルティングサービスを着実に強化、拡充しています。

特筆すべきは、IR・SR、M&A、会社法務が結合されていくこの巨大な成長市場において、アクティビストのみならず、投資銀行、ファンド、法律事務所等を含む多様なプレイヤーが、わが国上場企業の事業ポートフォリオ問題、蓄積された内部留保、因習的株主還元、低TSR等の改善を掲げて、ターゲットとなる上場企業に対して複雑かつ周到なアプローチを仕掛けていることであり、今後は経済産業省が策定した公正なM&Aの在り方に関する指針にある「Conflict of Interests(利益相反)」、「Majority of Minorities(少数株主保護)」が上場企業の取締役会にとって益々重要な判断要素となってくることが拝察されます。

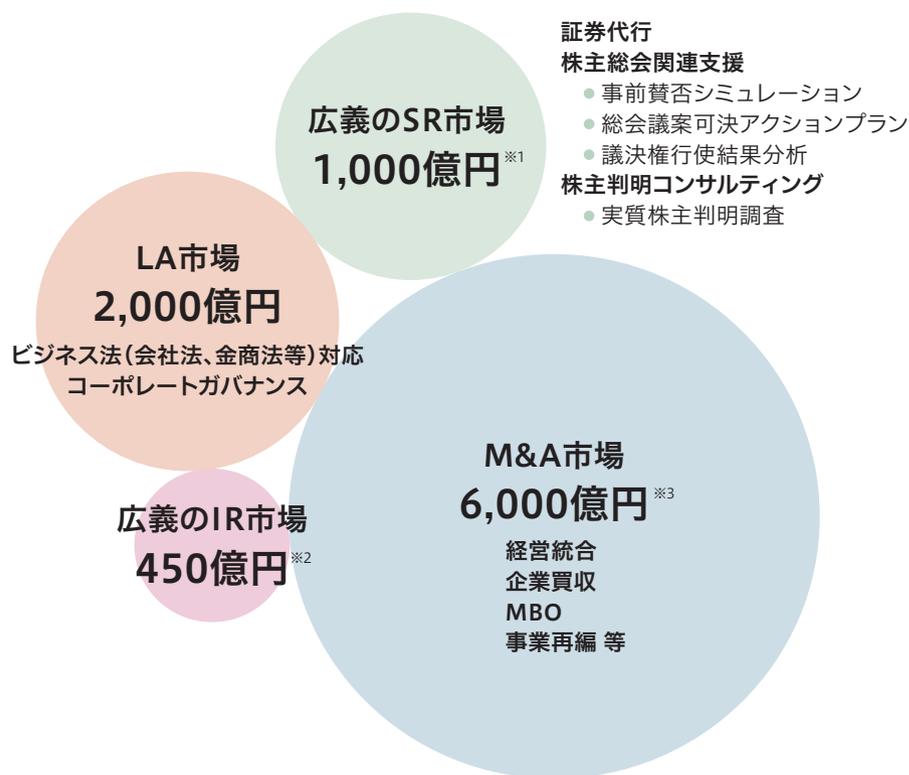
当社のIR・SRと投資銀行を強力に合体させた唯一無二のプロキシ・アドバイザー(PA: Proxy Advisor)、フィナンシャル・アドバイザー(FA: Financial Advisor)サービスはまさにこの巨大な市場の中核に位置するものとして、令和に入り一段と注目が高まっています。そして当社は公正なM&Aの在り方に関する指針が要請するポイントの実現を含め、この唯一無二のPA・FAサービスを深耕する上で、

1. 独立系の立場を貫き通す
2. 当社業務の核心である公正さを絶対基準とし、海外・国内機関株主ならびに個人株主を包含する株主共同の利益の向上を常に考慮する
3. 上場企業の自主性を重んじ徹底的にお客様に寄り添う

を金科玉条とし、当社のお客様である上場企業の株主共同の利益が向上することに貢献しながら、次なる自らの収益成長ステージで、革新を後押ししていきます。

PA・FAのインフラが整いようやく巨大市場への参入とプレゼンスが認識されてきた当社ですが、株主の皆様には新たなステージでの引き続き力強い応援を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

## コア・フィールドの市場規模合計 約1兆円



※1 証券代行は直近の手数料収入または業務粗利益に基づき算出。IR会社および証券印刷会社は直近の売上に基づき算出。  
 ※2 日本IR協議会が実施したIR活動の実態調査における「IR活動にかかる平均年間費用」に基づき、証券印刷会社・IR会社の直近の売上を考慮して算出。  
 ※3 MARR統計における2018年日本企業関連M&A金額(約30兆円)にかかる手数料率を2.0%と仮定し算出。

# TOPICS

## アイ・アール ジャパンのプロキシ・アドバイザー (PA)、フィナンシャル・アドバイザー (FA)とは

アクティビスト対応ならびに敵対的TOB・委任状争奪戦などの事態が発生した際に、総会の議案可決に向けて戦略立案を行うのがPAの役割です。議決権(支配権)の確保には、精密な実質株主動向・議決権分析ができるアドバイザーが不可欠であり、実質株主判明調査において圧倒的な正確性と緻密性を有する当社は、このPA業務において、業界屈指のポジションを確立しています。

一方、近年はアクティビストの要求が複雑・高度化していることで、事業ポートフォリオや資本政策など、経営の根幹に関わる部分から課題を見出し、ソリューション

を提供するFAとしての役割が重要となってきました。こうしたことから、当社では現在、投資銀行業務をSR業務と有機的に結合させ、PA+FAとして機能することで、お客様に徹底的に寄り添った唯一無二のソリューションを提供する体制を整えています。当社のFAとしての優位性は第一に、議決権(支配権)を熟知している点です。また、完全独立系の立場を貫き、株主共同の利益の確保・向上を第一とする先鋭の専門家集団がソリューションを提供できるという点においても、他のFAとは一線を画す存在となっています。

### ≫ アクティビスト対策ならびに敵対的TOB・委任状争奪戦における当社のPA・FA業務



## 当社の強み

Power of Equityのフィールドは、今後、相互に有機的に結合しながら将来的には巨大市場かつ著しい成長市場となることが予測されます。

こうした状況のなか、当社は①データオリエンテッド(実証分析データ) ②PAとし

ての圧倒的な実績 ③独自性を有するFA業務という3つの強みを武器に、新しい市場であるが故の複雑かつ高度なニーズに応えることのできる唯一無二のコンサルティング会社として進化しつづけてまいります。

### アイ・アール ジャパンのPower of Equity(株式議決権の力)を基軸とした唯一無二のコンサルティングサービス

#### アイ・アール ジャパンの強み 1

##### データオリエンテッド (実証分析データ)

##### 独自のAIおよび グローバルリサーチ体制

国内・海外計約6,000名のグローバル  
議決権担当者情報を常時収集・蓄積



全世界約10,000件のアクティビストの  
投資実績・活動実績を常時収集・蓄積

#### アイ・アール ジャパンの強み 2

##### PAとしての圧倒的な実績

- 精密な実質株主6,000名(海外/国内)の  
動向分析力
- 委任状争奪戦に関する圧倒的な知見
- 株主主催の臨時株主総会・定時株主総会  
を実現できる強い機能(証券代行機能)を  
有する
- 招集通知・委任状の手配、議決権の確保等  
における圧倒的な実績(委任状争奪戦でほ  
ぼ負けなし)

#### アイ・アール ジャパンの強み 3

##### 独自性を有するFA業務

- TOBによる支配権争奪
- TOBと同時進行する委任状争奪戦
- グループ会社再編に関するM&A  
(公正性担保を全面に打ち出す)
- アクティビスト対策に関連したM&A
- 独立性の特性をフル活用したM&A、  
MBOアドバイザー
- プレースメント・エージェントをFA  
業務の柱に加える

#### お知らせ

##### プレースメント・エージェント業務の第1号案件

株式会社福島銀行のFAとして、SBIホールディングス株式会社に対する第三者割当増資及び資本業務提携契約を締結しました。これを機に、当社プレースメント・エージェント業務のさらなる拡大を目指すとともに、お客様である上場企業の資本政策において唯一無二のコンサルティングを格段に進化させてまいります。

# 業績について

世界的なESG(環境・社会・ガバナンス)投資の拡大を受け、時代の寵児ともいえるアクティビストがわが国企業への投資ならびに提案を加速させました。当社は、わが国企業への投資を持続的に展開する世界6,000名強の機関株主との議決権エンゲージメントを最大の強みとするSRアドバイザーに加え、圧倒的な勝利の実績を誇るプロキシ・アドバイザー(委任状争奪)ならびにアクティビスト対応において日本最大級かつ先鋭の専門家を配備するフィナンシャル・アドバイザー(財務・M&A)を集結させ、お客様である上場企業の経営層に対して企業価値の向上に資する唯一無二のエクイティコンサルティングを提案し、急速に受託を拡大しております。

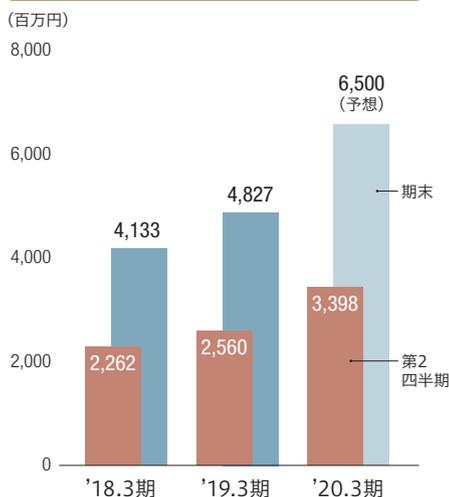
当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ32.7%増加の3,398百万円、営業利益は、同70.8%増加の1,474百万円、経常利益は同67.2%増加の1,471百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同68.4%増加の1,009百万円とな

り、いずれも過去最高を達成いたしました。

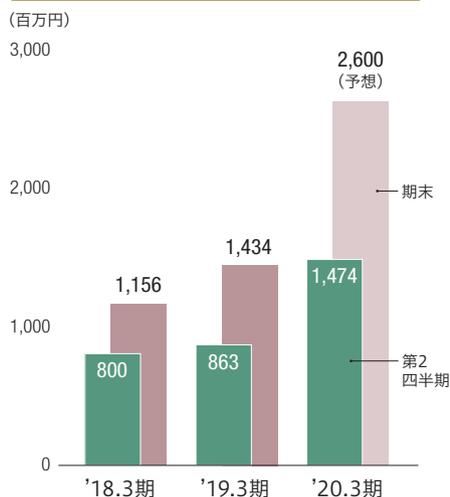
また、IR・SRコンサルティングの順調な売上伸長が予想されるとともに、支配権争奪ならびにアクティビスト対応における大型の業務受託契約を締結したこと等により、通期業績予想の上方修正を行いました。通期見直しにおける売上高は6,500百万円、営業利益、経常利益は2,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,750百万円となる見込みです。

当期の配当は、中間配当として1株につき20円、期末配当として1株につき25円の年間45円を当初予想しておりましたが、通期業績の上方修正を踏まえ、中間配当は、5円引き上げの1株につき25円とすることを決議しました。期末配当につきましても、5円引き上げの1株につき30円を予定しております。

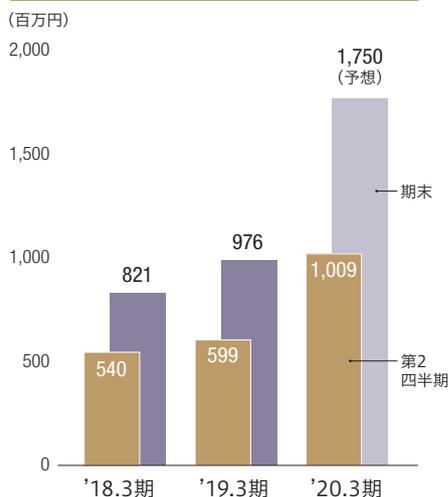
## 売上高



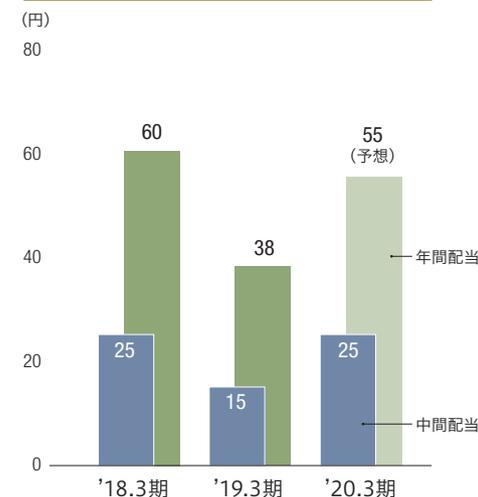
## 営業利益



## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



## 配当金の推移



※ 当社は、2018年9月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしました。2018年3月期の配当金は、株式分割前の数値となります。

# 株式の状況

2019年9月30日現在

## 株式の状況

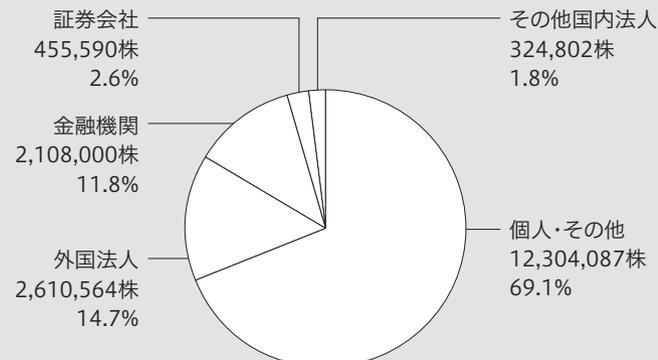
発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	17,833,810株 (自己株式30,767株を含む)
株主数	3,425名

## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
寺下 史郎	9,092,300	51.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	815,400	4.58
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	483,903	2.72
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	449,785	2.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	395,700	2.22
45 アイズ株式会社	292,500	1.64
MSCO CUSTOMER SECURITIES	282,253	1.59
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	251,033	1.41
個人	183,200	1.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	172,900	0.97

※持株比率は自己株式(30,767株)を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



※自己株式(30,767株)を控除して計算しております。

当社ウェブサイトにて「株主・投資家情報」を掲載しております。  
ぜひご覧ください。



[https://www.irjapan.jp/ir\\_info/](https://www.irjapan.jp/ir_info/)



IRJHD IR

本誌に掲載している情報のうち過去の歴史的事実以外のものは、現在入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による当社の将来の見通しであり、経済動向、市場需要、税制や諸制度の改正等、リスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの要素によって変動する可能性があり、当社は皆様が本誌の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本誌に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 この他、必要があるときはあらかじめ公告して定めます。
株主総会の基準日	定時株主総会については3月31日といたします。 この他、必要があるときはあらかじめ公告して定めます。
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告 ( <a href="https://www.irjapan.jp/ir_info/release/publicnotice.html">https://www.irjapan.jp/ir_info/release/publicnotice.html</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	株式会社アイ・アール ジャパン
お問い合わせ先	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング26階 0120-975-960

### 住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。

### 未払配当金のお支払について

上記お問い合わせ先までお申し出ください。

## 会社概要

商号	株式会社アイ・アール ジャパンホールディングス (英文: IR Japan Holdings, Ltd.)
本社所在地	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング26階 URL: <a href="https://www.irjapan.jp/">https://www.irjapan.jp/</a>
設立	2015年2月
資本金	8.3億円(2019年9月30日現在)
主要子会社	株式会社アイ・アール ジャパン ● 宅地建物取引業者「東京都知事(1)第100534号」 ● 第一種金融商品取引業者「関東財務局長(金商)第2624号」 ● 株式事務代行機関 ● 指定株主名簿管理人等 ● 日本証券業協会加入 ● 全米機関投資家協会名誉国際参加者 ● 投資評価機関認定会社 ● 公益社団法人日本証券アナリスト協会賛助会員 ● 日本IRプランナーズ協会会員 ● 日本IR協議会会員 ● 有料職業紹介事業許可書「許可番号13-ユ-303368」

## 株主アンケート

### 株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまへの情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行っていきたく考えています。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、下記アンケートサイトにアクセスしていただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

#### アンケートサイト(画面)への接続方法



<https://kabuhiro.jp>

Yahoo!やGoogleなどの検索エンジンからアンケートサイトを呼び出してください。

株主ひろば

#### ご回答方法

アンケートサイト(<https://kabuhiro.jp>)画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバーを入力して回答画面にお進みください。

アンケートナンバー 6035na

アンケート実施期間 2020年1月31日まで



「株主ひろば」にアクセス、アンケートにご回答いただき「アンケート画面に進む」ボタンをクリックしてください。

アンケートナンバー

●●●●

kabunushi-hiroba  
株主ひろば

このアンケートは、諸費用(郵便料金など)の削減と集計作業の迅速化を目的として、アイ・アール ジャパンが運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。

操作方法などのお問い合わせ先

株式会社アイ・アール ジャパン 株主ひろば事務局  
E-mail: [kabuhiro@irjapan.co.jp](mailto:kabuhiro@irjapan.co.jp)